

けいれん

救急車を呼ぶ！

- けいれんが止まっても意識がはっきりしない
(視線が合わない。お父さん、お母さんがわからない)
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

119番



ひとつでもあればすぐに受診！

- はじめてのけいれん
- けいれんが5分以上続く
- けいれん時、体温が38.0℃以下であった
- 生後6カ月未満あるいは6歳以上
- けいれんが左右対称でない
- 吐いたり、おもらしをしたりする
- 最近、頭を激しくぶつけた
- 何度も繰り返しけいれんが起こる



通常の診療時間内に受診

- 2度目のけいれんで様子がわかっているとき
- けいれんかどうか、はっきりしないとき
(寒気の震えは意識があり、呼ぶと返事がある)
- 大泣きしてのけいれんで、すぐ普通の状態に戻る



.....
ただし症状が大きく変わったら、すぐに医療機関へ

家庭での対応

- ★つい気が動転してしまいましたが、あわてずにしっかり様子を観察しましょう
- ★吐く場合があるので、顔を横に向け、衣服をゆるめる
- ★体を揺すったり、たたいたりしないように
- ★口の中に指や物を入れてはいけません



体験談

2歳半の時、昼食中に突然、白目をむいて後ろに倒れたので、急いで救急車を呼びました。待っている間に電話で「吐いたものを詰まらせないように」「時間を計るように」と説明を受けました。その後は、こどもが熱を出すたびに心配で、外出時にも薬を持ち歩くようになりました。 I. Aさん

吐いたものが気管に入らないように横向きにします。時間を計るのは、けいれんの時間が長いと危険だからです。5分以上続くようなら急いで受診。

